

沖縄復帰40周年記念式典



本土復帰40周年を迎えた本年5月15日、政府と沖縄県共催の沖縄復帰40周年記念式典が宜野湾市の沖縄コンベンションセンターで開催されました。

式典には野田内閣総理大臣、仲井眞沖縄県知事を始め、横路衆議院議長、平田参議院議長、竹崎最高裁判所長官、ルース駐日米国大使、川端沖縄担当大臣を含む閣僚や各国代表、高嶺沖縄県議会議長のほか県内外から約千人が参列しました。

式典では川端大臣の開式に続いて野田総理が式辞を述べられました。野田総理は式辞の中で、5月15日は鎮魂と平和への決意を新たにする日であり、沖縄の未来へ思いを馳せる日でもあると述べられました。また、自由度の高い一括交付金の新設や策定されたばかりの沖縄振興計画の着実な実行に力を尽くすことに加えて、那覇空港第二滑走路の整備推進や鉄軌道等の整備の在り方について調査・検討すると表明され、沖縄の基地負担の早期軽減を具体的に目に見える形で進めていくことについても言及されました。

続いて仲井眞沖縄県知事は、政府による沖縄振興と基地跡地の有効活用のための二つの法律制定や沖縄の基地負担軽減の取組みに



式典終了後には、記念レセプションが展示棟で開催され、野田総理や仲井眞知事ら関係者による鏡開きや稲嶺前沖縄県知事の乾杯が行われたほか、琉球舞踊や空手演武、キッズダンスの披露や夏川りみさんのLIVEが披露され復帰40周年を祝いました。

謝意を表し、その上で日米地位協定の見直しや普天間飛行場の早期返還・移設は県民の強い願いであり、一日でも早い解決を希望すると述べられました。

このほか衆参両議院議長、最高裁判所長官、駐日米国大使、元沖縄開発庁長官の上原康助氏、沖縄県民若者代表の下條義人さん、仲村渚さんから、これからの沖縄への思いを込めた挨拶が述べられ、最後に高嶺沖縄県議会議長から閉式の辞が述べられました。